



マーチャント・バンカーズ（株）

2022年3月期 第2四半期決算・補足説明資料

November 12, 2021

東証2部（コード：3121）



マーチャント・バンカーズ株式会社

2022/3期 第2四半期損益サマリー (増収・増益)

- セグメント別利益は、マーチャント・バンキング事業が476百万円（前期比+282.0%）、オペレーション事業が▲30百万円（前期▲73百万円）
- 増収に加え、販売管理費を抑え営業利益は329百万円、経常利益287百万円、当期純利益212百万円

(百万円)	2021/3期	2Q	構成比%	2022/3期	2Q	構成比%	前期比増減額	前期比%
売上高		666	100%		1,984	100%	+1,318	+197.9%
マーチャント・バンキング		376	56.5%		1,661	83.7%	+1,285	+341.8%
オペレーション		289	43.4%		338	17.0%	+49	+17.0%
売上総利益		297	44.6%		634	32.0%	+337	+113.5%
販売管理費		333	50.0%		305	15.4%	▲28	▲8.4%
営業利益		▲35	-		329	-	+364	-
営業外損益		▲45	-		▲41	-	+4	-
経常利益		▲81	-		287	-	+368	-
2Q 当期純利益		▲217	-		212	-	+429	-

2022年3期 第2四半期決算総括

■ 業績面：

① マーチャント・バンキング事業： **好調に推移し全体業績を牽引！**

第1四半期に、営業投資有価証券として保有する CN Innovations Holdings Limited の売却に加え、函館市の福祉施設の売却が進み、売上・利益貢献となった。第2四半期には、大阪市天王寺区収益用マンションを売却。

これら資金回収により、収益不動産、連結貢献できる企業M & Aを積極推進。ブロックチェーン事業は、N F T 売買プラットフォームの正式オープンを2Qに実施。

② オペレーション事業： **収益性改善し、赤字幅の大幅縮小！**

既存給食事業等のオペレーションは堅調に推移、子会社の催事販売・通信販売のケンテンも堅調に推移し、唯一自社でオペレーション中のRホテルイン北九州は黒字を達成。オペレーション事業は、増収となり、赤字幅も大幅縮小し、黒字化を下期達成予定。

■ 新中期経営計画を推進中！ **2024/3期目標：売上高30億円、営業利益10億円（8/3日に修正発表）**

1) マーチャント・バンキング事業（売上高計画 21/3 期 9.3 億円 → 24/3 期 30 億円）

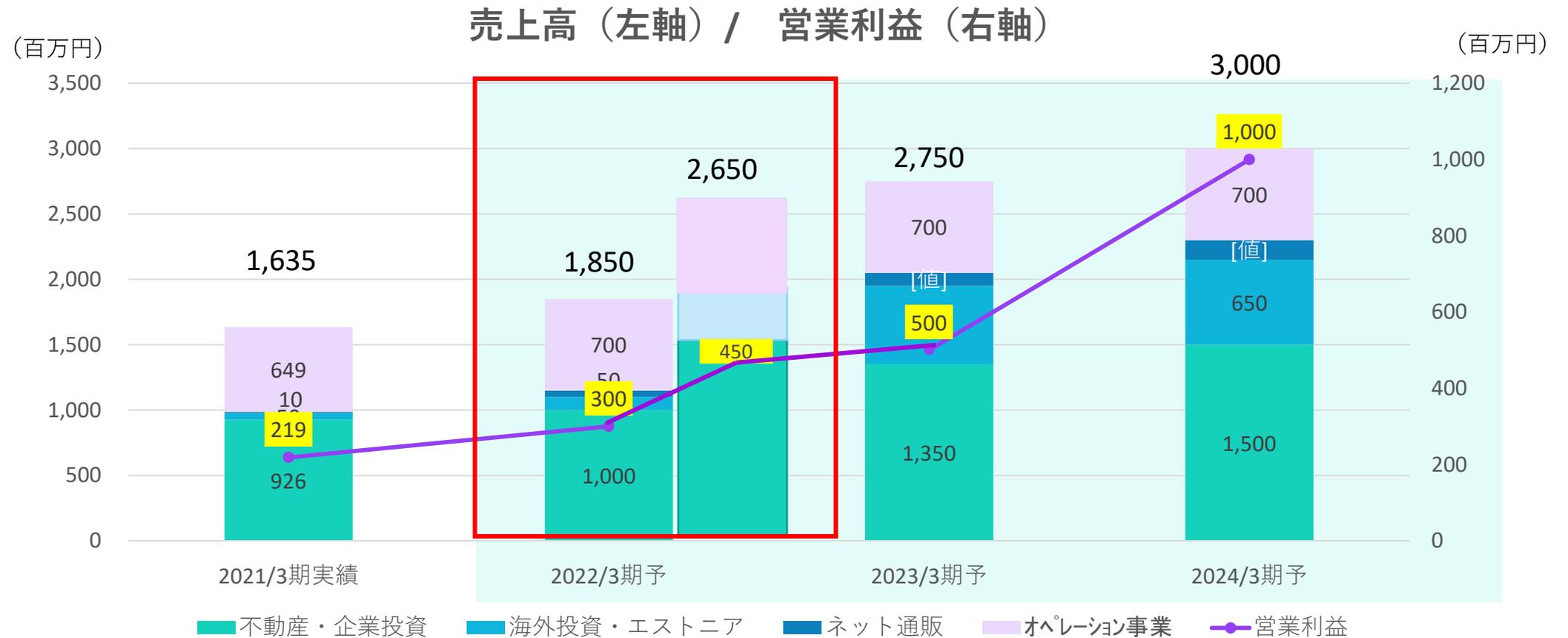
- ・不動産投資・企業投資事業：安定的な居住用の賃貸収益物件の積み上げと、ブリッジ案件・開発案件への取り組み
- ・エストニア事業：Nasdaq Baltic上場の子会社EJTC社を、M&A・不動産事業の強化、NFT・不動産テック・医療テックの強化、エストニア企業との連携ビジネス
- ・ネット販売事業：既存商材に加え、NFT活用のお宝グッズのネット販売、エストニアのネット通販会社への日本製品提供で親日ユーザーへの売上拡大を図る大

2) オペレーション事業（売上高計画 21/3 期 6.5 億円 → 24/3 期 7 億円）

- ・給食事業を中心に各商業店舗のオペレーション事業による利益貢献

中期経営計画に対する今期進捗予想

■ マーチャント・バンキング事業（不動産投資、企業投資、ブロックチェーン・テック）の成長による利益成長



中期経営計画の修正 (2021/8/30発表)

期初発表の中計経営計画数値
(2021/6/7日発表)

	2022/3E	2023/3E	2024/3E
不動産投資	1,000	1,150	1,300
企業投 (M&A)	100	200	300
ブロックチェーン・テック	50	200	400
オペレーション	700	700	700
売上高	1,850	2,250	2,700
営業利益	300	500	1,000

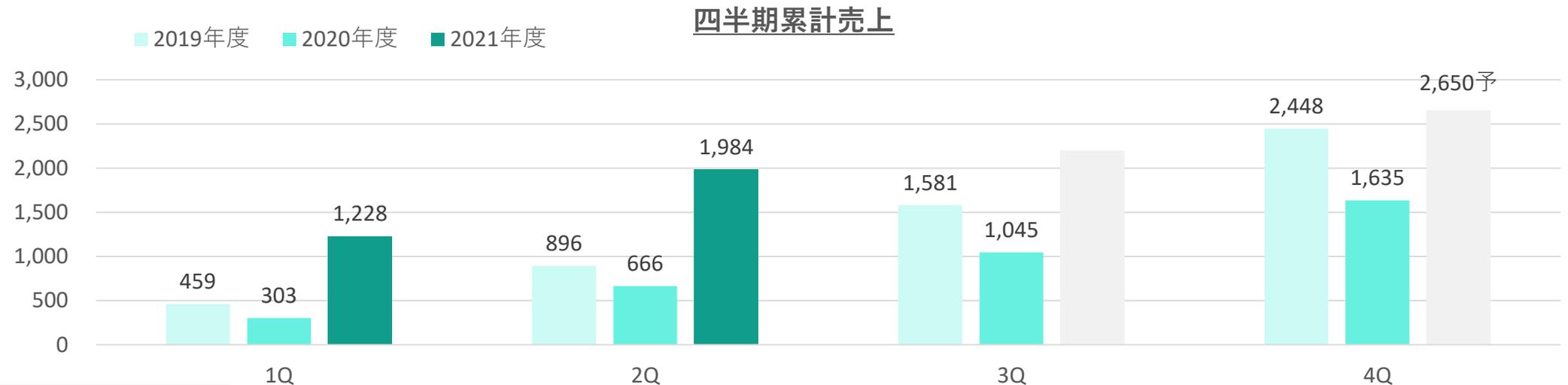
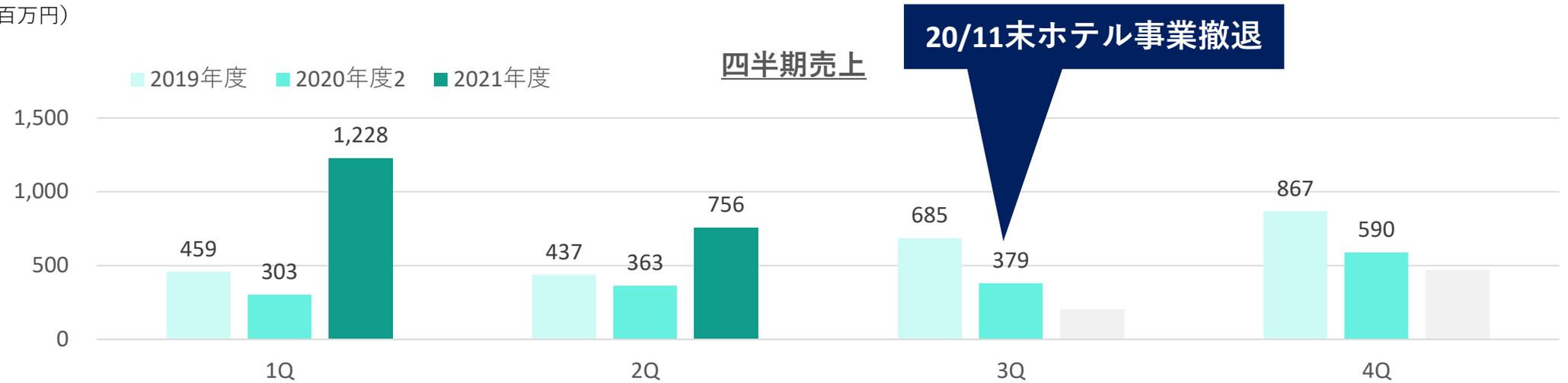


新中計経営計画の修正発表
(2021/8/31日発表)

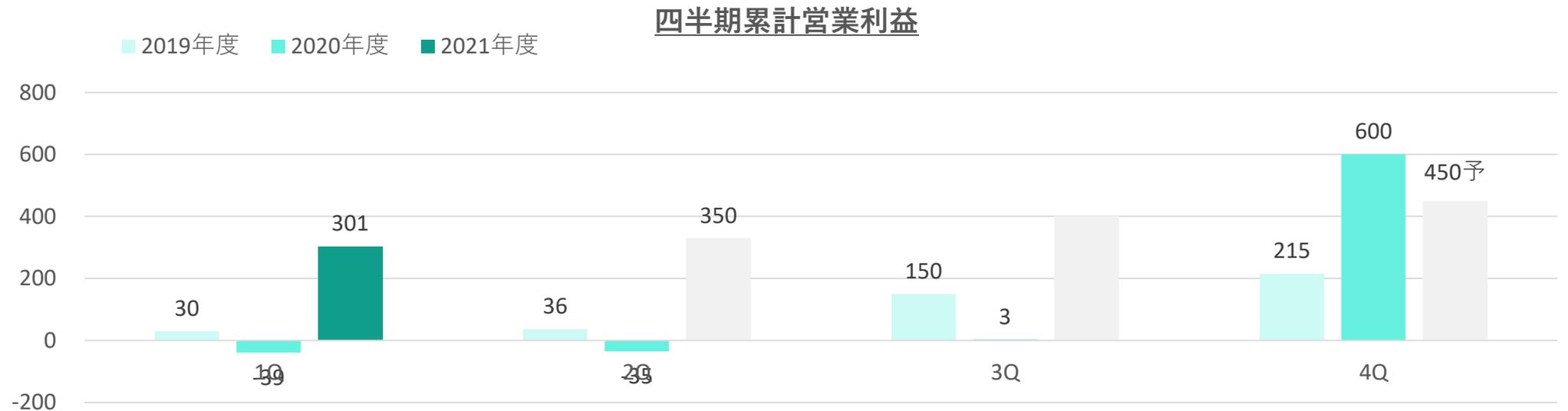
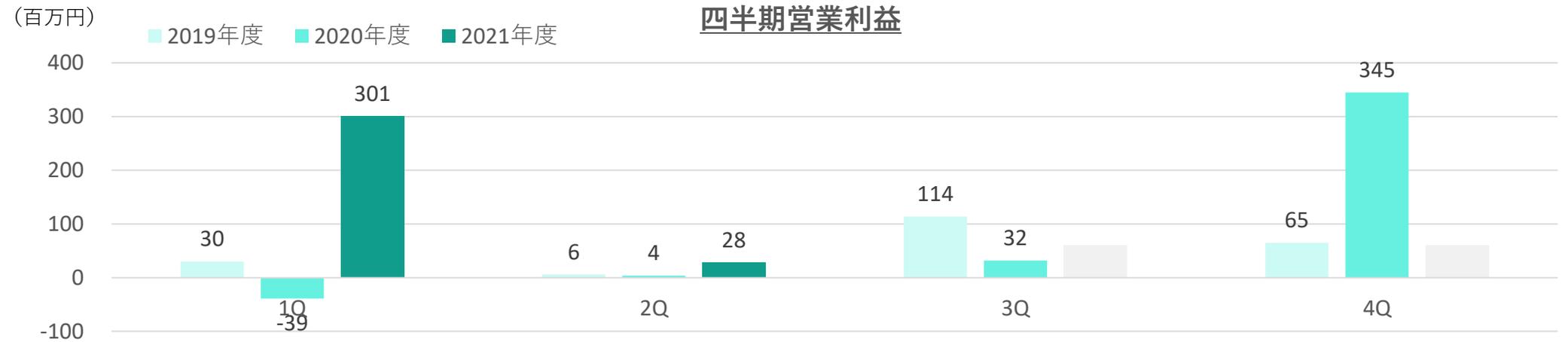
	2022/3E	2023/3E	2024/3E
不動産・企業投資	1,100	1,350	1,500
海外・IT・IA事業	850	600	650
ネット販売事業	-	100	150
オペレーション	700	700	700
売上高	2,650	2,750	3,000
営業利益	450	500	1,000

四半期毎の売上推移

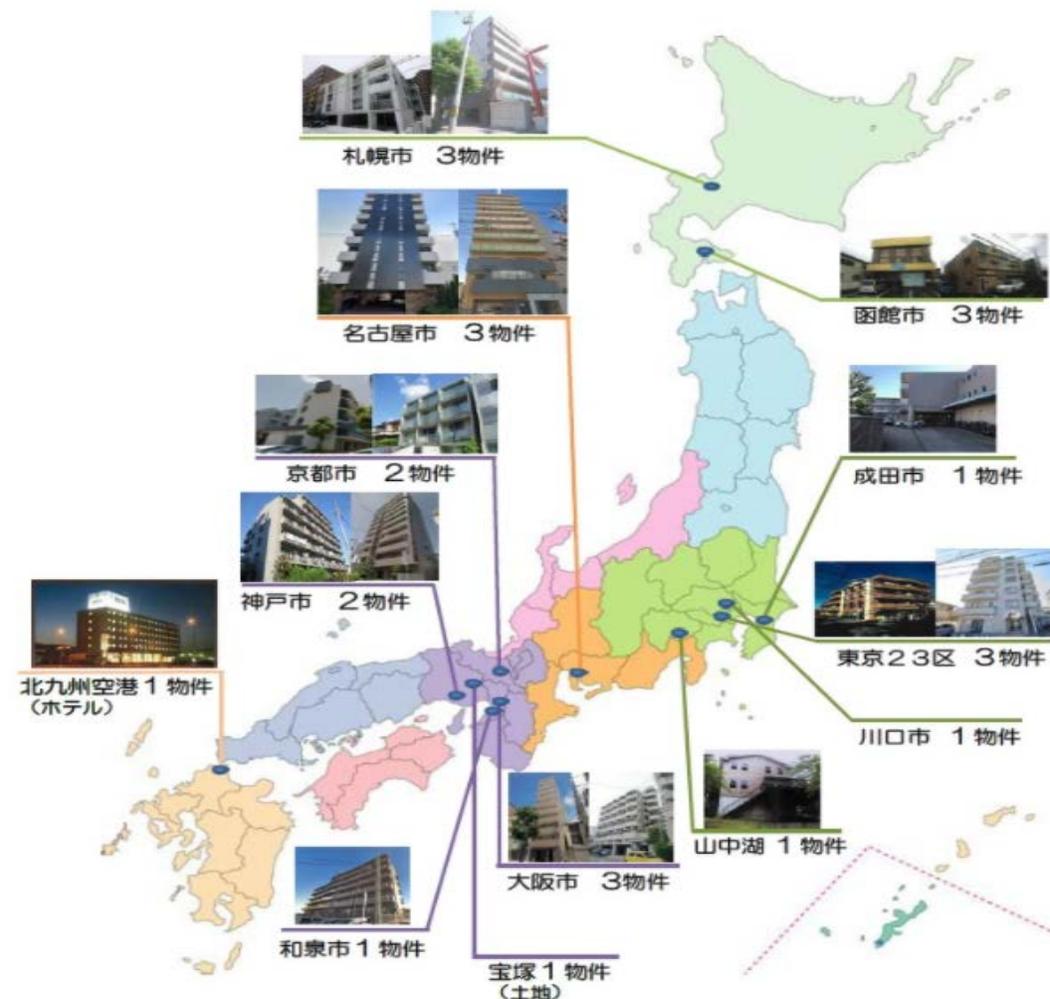
(百万円)



四半期毎の営業利益の推移



マーチャント・バンキング事業 (当社安定収益源の賃貸マンション)



■ 収益不動産1物件を売却

■ 営業投資有価証券の売却

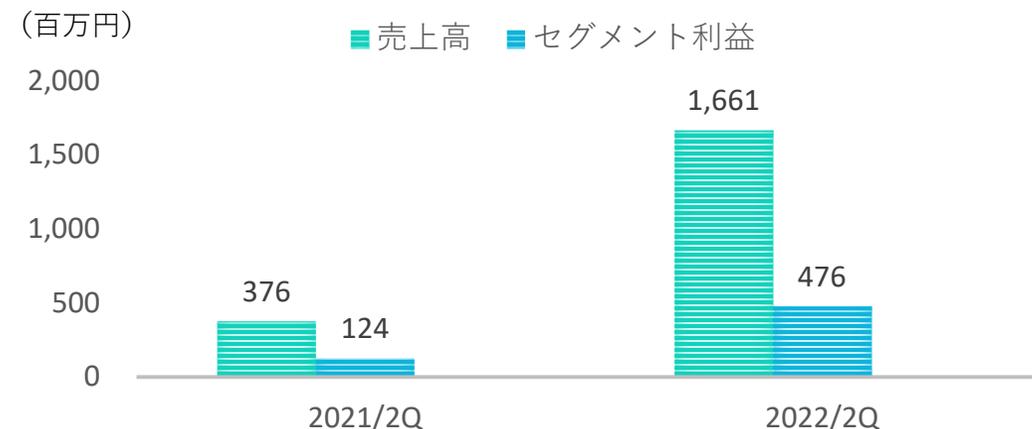
→ 合計8.9億円

■ 全国に25棟の不動産賃貸ビル保有
(約100億円)

■ 年間家賃収入 (約7億円、5~6%利回り)

■ 賃貸マンションが中心でコロナ禍の影響無し

■ 今後、優良物件あれば積極購入



オペレーション事業（赤字額の縮小）

北九州空港近く
福岡県京都郡苅田町苅田3787-61



■ 新型コロナ禍の影響を受け、
ホテルオペレーション事業より撤退

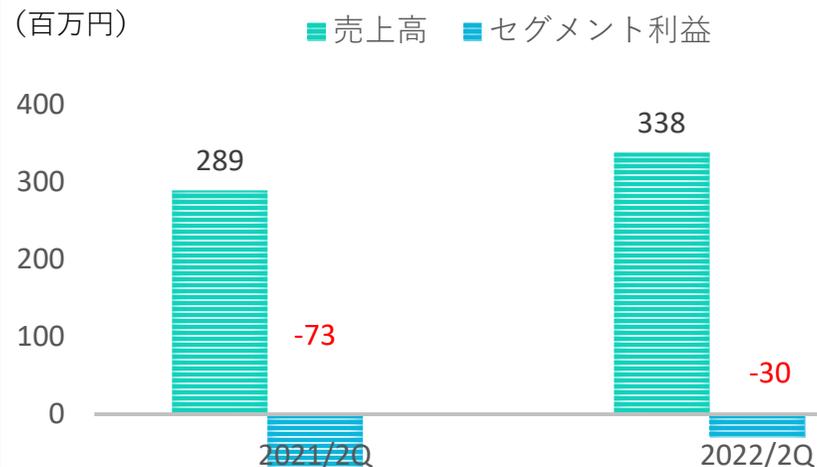
自社物件の「Rホテルイン北九州エア
ポート」は自社オペレーションに切り替え、売却予定



■ 愛媛大学医学部附属病院
給食事業



■ 子会社（株）ケンテンは東急、JR東日本、イオンモール等の商業施設内の店舗、催事場での期間限定店舗の企画・販売を実施。コロナ禍でのニーズ拡大。インターネット販売を強化。



2Q : トピックス (1)

エストニア企業に対する日本向け投資やM&Aに関するアドバイザー事業開始


<http://www.mbkworld.co.jp>

2021年8月23日

各位

会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼CEO 小貫英樹
(コード3121 東証2部)

問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 高崎正年
(TEL 03-5224-4900)

(開示事項の経過) エストニア企業に対する日本向け投資やM&Aに関する
アドバイザー事業開始のお知らせ

当社は、2021年8月16日付「エストニア企業に対する日本向け投資やM&Aに関するアドバイザー事業開始のお知らせ」で、NASDAQ BALTICに上場するエストニア子会社 Estonian Japan Trading Company AS (以下、E J T C社といいます。) とともに、エストニア大使館やエストニア経済産業省との協力関係のもと、エストニア企業に対しまして、日本企業を対象にした投資やM&Aに関するアドバイザー事業を開始することをご報告させていただきました。

また、第1号案件といたしまして、遠隔医療システムを開発するエストニア企業の日本市場進出のための日本企業との資本提携に取り組むことをご報告させていただきました。

今般、第2号案件といたしまして、「Cognuse 00」の日本企業への投資について取り組むこといたしましたので、お知らせいたします。

「Cognuse 00」は、病院や医療従事者向けに、医療現場で、医療ミスをなくし、患者に適正な医療サービスを、効率的に提供するためのアプリ「CoNurse (コ・ナース)」を開発し、日本向けにローカライズし、販売するため、日本の有力なパートナーと資本提携し、協力関係を構築することを希望しており、当社ならびにE J T C社といたしまして、Cognuse社のニーズにかなった日本のパートナーを紹介し、資本提携をアレンジいたします。

不動産バイアウト & リース事業の開始に関するお知らせ


<http://www.mbkworld.co.jp>

2021年9月6日

各位

会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼CEO 小貫英樹
(コード3121 東証2部)

問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 高崎正年
(TEL 03-5224-4900)

不動産バイアウト&リース事業の開始に関するお知らせ

当社は、リーズナブルな戸建てから、レジやマンションの一室、あるいは一棟まで、幅広い物件を対象に、金融機関と組んで、不動産バイアウト&リース事業を開始し、マイホームを中心に、不動産オーナー様から物件を買取り、不動産オーナー様には、そのまま賃借人として、物件を使い続けて頂くサービスを開始することといたしましたので、お知らせいたします。

バイアウト&リース事業は、住宅ローン返済や、老後の生活資金の蓄え、相続税対策など、不動産オーナー様のさまざまな資金ニーズに対しまして、賃借人として、物件をそのままお使い頂いたまま、お応えするもので、長年、不動産賃貸事業を行ってきた当社ならではの事業として、安定収入を確保してまいります。

銀行や生命保険会社、税理士、不動産管理会社など、当社の幅広い協力体制を活用し、不動産オーナーやマイホーム保有者にアプローチし、幅広い資金ニーズに対応し、賃料収入として、安定的収益を確保できる事業として、積極的に取り組んでまいります。

バイアウト&リース事業を通じて取得する物件は、国内外の個人の投資家が取り組みやすい、安全で比較的小さいロットの投資案件として、NASDAQ BALTIC 上場のエストニア子会社 Estonian Japan Trading Company AS や、エストニアの暗号資産交換所 ANGOO Fintech と連携し、不動産テックを通じて、紹介してまいります。

また、安全で円滑な不動産取引を促進するため、これらの不動産案件のNFT化につきましても、具体的検討を進めてまいります。

2Q : トツピクス (2)

本社事務所移転のお知らせ

移転先：電話番号 (03)6434-5540

住所〒106-0031 東京都港区西麻布三丁目3番1号

SKY 西麻布ビル 6階

「六本木」駅1C出口より徒歩6分

「麻布十番」駅7番出口より徒歩12分



新本社事務所
SKY 西麻布ビル 6階

新型コロナウイルス対策としての「冬虫夏草」販売強化に関するお知らせ



<http://www.mbkworld.co.jp>

2021年9月13日

各位

会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼CEO 小貫 英樹
(コード3121 東証2部)
問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 高崎 正年
(TEL 03-5224-4900)

新型コロナウイルス対策としての「冬虫夏草」販売強化に関するお知らせ

ワクチン接種による新型コロナウイルスの感染収束が期待されておりましたが、より感染力の強い変異ウイルスがどんどん増え、来年に向けて、3回目のワクチン接種が準備されており、新型コロナウイルスは、いまだ国民の皆様を不安にさせております。

新型コロナウイルスに対しまして、当社グループでは、対策グッズの販売や、愛媛大学医学部附属病院への防護服の寄付など、これまで、積極的にさまざまな取組みを行ってまいりました。

今般、子会社ケンテンは、ネット販売ショップ「KENTEN×Lafan」で、

- ◆中国4000年以上の歴史に裏付けられた秘伝漢方
- ◆総合免疫力を高め、アンチエイジングに有効

として知られる冬虫夏草の販売を強化いたします。

皆様に、少しでも、新型コロナウイルスに負けない検疫力をつけて頂ければと思い、ご報告させていただきます。

冬虫夏草は、チベットが原産の、オオコウモリガの幼虫に寄生するきのこの一種で、中国では、不老長寿(アンチエイジング)に欠かせない生薬として、4000年以上の歴史の中で、秦の始皇帝や世界三大美女の楊貴妃はじめ、歴代の皇帝や皇妃たちに愛用され、珍重されてきました。

2Q : トピックス (3)

香港証券会社における当社株式売買取次ぎ開始のお知らせ



<http://www.mbkworld.co.jp>

2021年10月11日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 小 貴 英 樹
(コード3121 東証2部)

問合せ先 代表取締役副社長 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年
(TEL 03-6434-5540)

香港証券会社における当社株式売買取次ぎ開始のお知らせ

当社は、香港・中国の投資家の皆様に、当社株式の売買の利便性を高めるため、香港の証券会社「KGI Asia Limited」(凱基證券亞洲有限公司、以下、「KG I 証券」といいます。)と協議のうえ、同社におきまして、当社株式の売買の取次ぎを行うこととなりましたので、お知らせいたします。

当社は、2019年9月より、香港の証券会社BS SECURITIES LTD (以下、「BS 証券」といいます。)と業務提携を行っておりますが、今般、KG I 証券は、BS 証券に続き、当社のビジネスモデルを継承したもので、KG I 証券におきまして、当社株式の売買の取次ぎを行います。

KG I 証券の概要は、以下のとおりであります。

(1) 名 称	KGI Asia Limited (凱基證券亞洲有限公司)
(2) 所 在 地	41/F CENTRAL PLAZA 18 HARBOUR RD WANCHAI, HONG KONG
(3) 代表者の役職・氏名	CHAN, HIN GEUNG MARK 氏
(4) 事 業 内 容	証券業
(5) 資 本 金	USD 95,000,000 (105 億 9,250 万円、1USD=111.50 円換算)
(6) 設 立 年 月 日	1996 年 10 月 1 日
(7) 当社と相手先との関係	人的、資本的又は取引関係はありません。また、関連当事者に該当いたしません。
(8) 財政状態及び経営成績	相手先の意向により非開示とさせていただきます。

不動産ファンドやSPC (特別目的会社) を活用した不動産事業強化の取組み開始のお知らせ



<http://www.mbkworld.co.jp>

2021年10月18日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 小 貴 英 樹
(コード3121 東証2部)

問合せ先 代表取締役副社長 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年
(TEL 03-6434-5540)

不動産ファンドやSPC (特別目的会社) を活用した不動産事業強化の取組み開始のお知らせ

当社は、さらなる不動産収益物件の取得を進め、不動産開発案件やブリッジ案件の取組みを強化し、さらなる利益向上をはかるため、不動産ファンドの組成や運営に取り組み、また、案件ごとに共同事業者とSPC (特別目的会社) を組成する取組みを開始することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、空室リスクが小さく、流動性の高い大都市部の居住用不動産をリーズナブルに取得し、年間7億円程度の安定的な家賃収入を積み上げてまいりました。

2021年8月30日付「中期経営計画の修正に関するお知らせ」のとおり、大都市部の居住用不動産取得を強化し、賃料収入を年間10億円とする目標を掲げております。

当社は、購入資金を金融機関から調達し、当社本体で収益用不動産を取得してまいりましたが、さらに収益用不動産を積み上げてゆくにあたり、バランスシートをスリム化し、資産効率を高めるため、当社が保有する物件の不動産ファンドに組み入れや、不動産ファンドを通じた収益用不動産の取得を行ってまいります。

収益用不動産の保有に加え、開発案件やブリッジ案件への取組みも強化しておりますが、不動産ファンドにより、あるいは共同事業者とSPC (特別目的会社) を組成し、第三者の資金を活用することにより、規模の大きい案件も積極的に手掛けてまいります。

2022年3月期の業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、重要な影響を与える事象が生じましたら、改めて開示させていただきます。

2Q : トピックス (4)

エストニア子会社 E J T C 社(NASDAQ BALTIC 上場)による不動産事業開始のお知らせ


<http://www.mbkworld.co.jp>

2021年11月1日

各位

会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 小 貫 英 樹
(コード 3121 東証 2 部)
問合せ先 代表取締役副社長 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年
(TEL 03-6434-5540)

エストニア子会社 E J T C 社(NASDAQ BALTIC 上場)による不動産事業開始のお知らせ
～安定的な収益基盤と財務基盤の確保～

当子会社 Estonian Japan Trading Company AS (以下、「E J T C 社」といいます。)は、ワールドワイドな事業展開と企業価値向上を志し、2021年3月24日に Nasdaq Baltic に上場いたしました。

今般、E J T C 社は、Nasdaq Baltic 上場会社としての信用力を活かし、日本国内の金融機関の協力体制を確保いたしましたので、安定的な収益基盤を構築するため、金融機関と協力して、不動産事業として、日本国内のマンションの取得を進めてゆくことといたしました。

E J T C 社は、不動産事業の第 1 号案件として、2021 年 10 月 29 日付で、兵庫県神戸市内のマンションを購入いたしました。

E J T C 社は、不動産事業を展開してゆくにあたり、財務基盤を強化するため、11 月中旬を目処に、増資による資本増強を行います。

また、今後、Nasdaq Baltic 市場を通じた、一般株主づくりを進める予定です。

株式の流動性を向上することにより、株式市場を通じた資金調達に加え、上場会社としての信用力を高め、エストニアの金融機関の協力体制を確保し、I T 先進国としてさらなる発展が期待され、土地開発の進むエストニアで、レジを中心とした不動産の事業を展開させてまいります。

国内初・現物との交換ができる N F T マーケットプレイス「N F T バンカーズ」リニューアルオープンのお知らせ


<http://www.mbkworld.co.jp>

2021年11月9日

各位

会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 小 貫 英 樹
(コード 3121 東証 2 部)
問合せ先 代表取締役副社長 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年
(TEL 03-6434-5540)

**国内初・現物との交換ができる N F T マーケットプレイス「N F T バンカーズ」
リニューアルオープンのお知らせ**

当子会社 MBK ブロックチェーン株式会社は、2021 年 4 月 26 日にオープンいたしました、現物のお宝アイテムとの交換ができる N F T マーケットプレイス「N F T バンカーズ」(<https://nft-bankers.com/>)を、本日 16:00 にリニューアルオープンいたします。

すでに「KENTEN×lafan」が収集している実際の映画の撮影で使用された約 1,000 点のお宝グッズを順次、出品及びオークションの開催をしております。

「N F T バンカーズ」では、今後、以下の施策を展開し、競合する他社のサービスとの差別化を行い、ユーザーを増やし、売買を拡大してまいります。

- ① 株式会社ケンテンの運営するショッピングサイト「KENTEN×lafan」(<https://lafan.co.jp/otakara.html>)との協力体制のもと、コレクターに喜んで頂ける映画や歴史もののグッズを充実
- ② Twitter、Facebook、Instagram、Medium といった SNS をフルに活用し、国内外のユーザーにマーケティング
- ③ メタバース空間(3Dの仮想空間)を構築し、メタバース空間上で、さまざまなマーケティングを展開
- ④ 子会社 Estonian Japan Trading Company AS との連携関係のもと、エストニアやヨーロッパのアーティストのコンテンツの収集と販売
- ⑤ 「N F T バンカーズ」オリジナルコインとして、「M B K コイン」での決済

メタバース空間の活用例



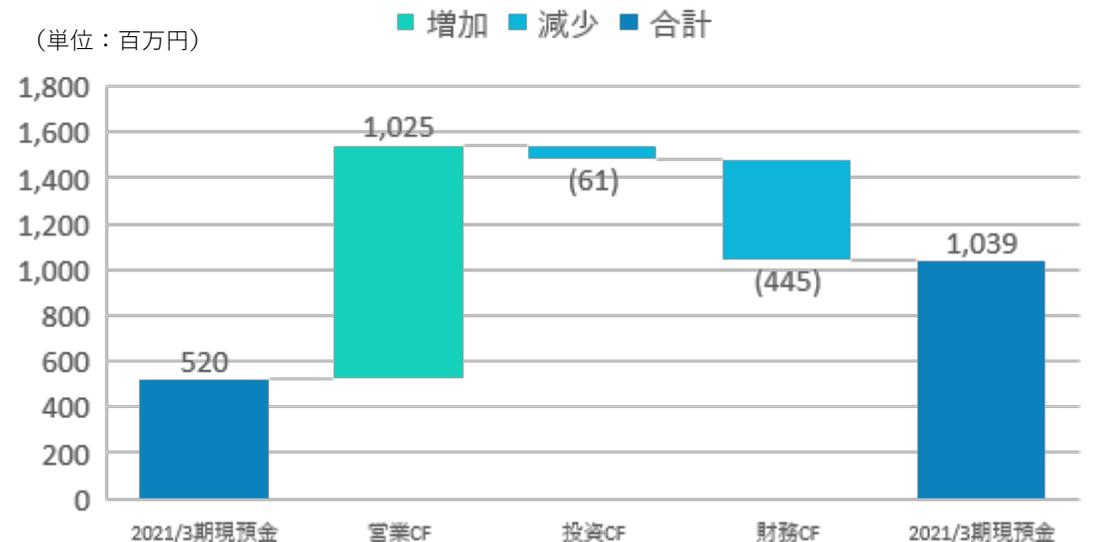
貸借対照表 & キャッシュフロー

単位:百万円	2021年3月末	2022年3月期 2Q
流動資産	1,021	1,289
現預金	523	1,043
受取手形及び売掛金	67	71
投資有価証券・販売用不動産	303	20
その他	128	155
固定資産	9,504	9,026
有形固定資産	9,262	8,782
無形固定資産	43	42
投資その他の資産	190	201
総資産	10,517	10,315
流動負債	486	480
買掛金	31	34
短期借入金	307	287
その他	148	159
固定負債	6,558	6,223
長期借入金	6,486	6,157
その他	72	66
純資産	3,473	3,612
株主資本合計	3,468	3,588
その他包括利益累計等	▲18	-
負債純資産合計	10,517	10,315

●自己資本比率32.8% → 35.0%

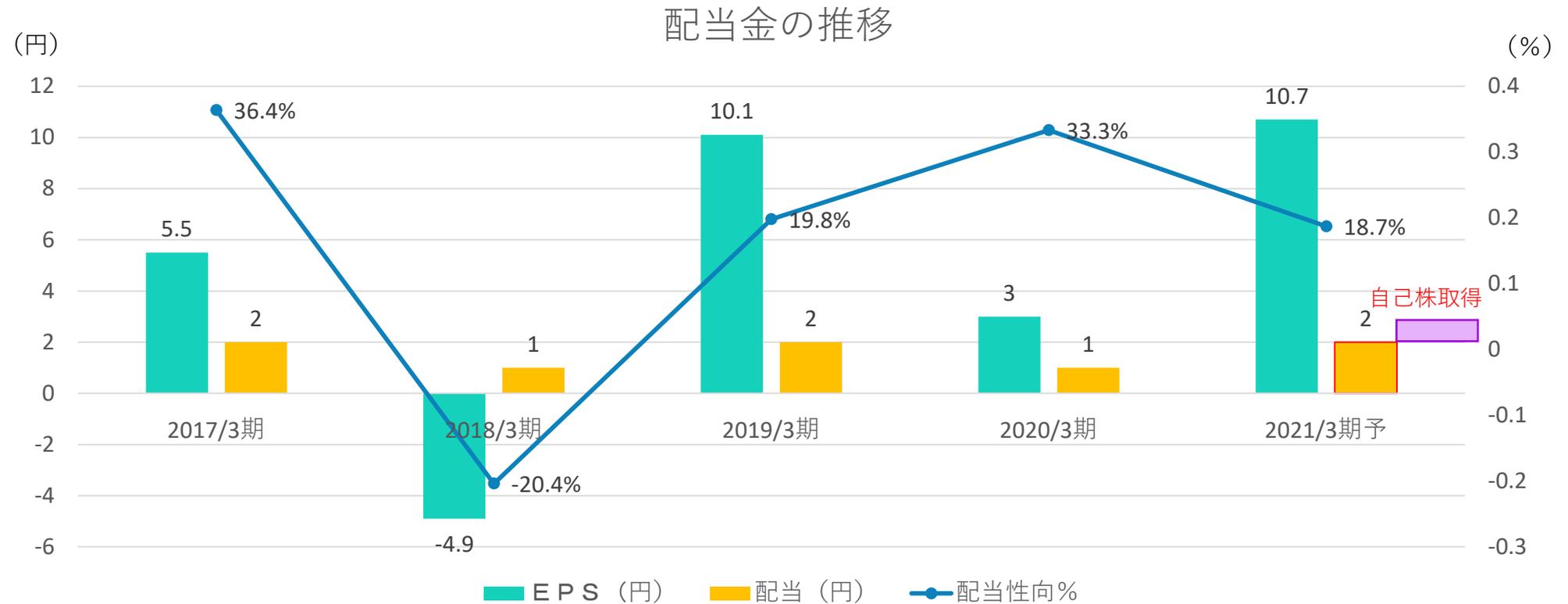
●長短借入金6,157百万円
(賃貸収益物件8,782百万円)

2022/3期2Q キャッシュフロー



株主還元 & 配当方針

- 今期自己株取得を実施：36百万円（発行済株式の0.43%、1.3円分/一株）
- 安定配当を前提に、成長への内部留保と株主還元の継続性を基本方針





新中期経営計画（2022/3期～2024/3期）

「Development the New Market」

May 24, 2021

東証2部（コード：3121）

新中期経営計画：事業方針

	2022/3E	2023/3E	2024/3E
不動産・企業投資	1,100	1,350	1,500
海外・エストニア事業	850	600	650
ネット販売事業	-	100	150
オペレーション	700	700	700
売上高	2,650	2,750	3,000
営業利益	450	500	1,000

不動産事業

1. 収益物件のさらなる取得、物件の入替 → 年間賃貸収入を現在の7億円から10億円へ
2. ブリッジ案件・開発案件 → 年間5億円利益目標
3. M&A・投資事業

ネット販売事業

1. 百貨店並以上の商品構成で売上向上
2. N F Tを活用したお宝グッズのネット販売強化
3. エストニアのネット販売会社に「Made in Japan」の商品提供 → 親日のエストニアでのニーズに応え、エストニア事業の収益とのシナジー

エストニア事業

Nasdaq Baltic上場のEstonian Japan Trading Company (EJTC社)の収益と企業価値を向上

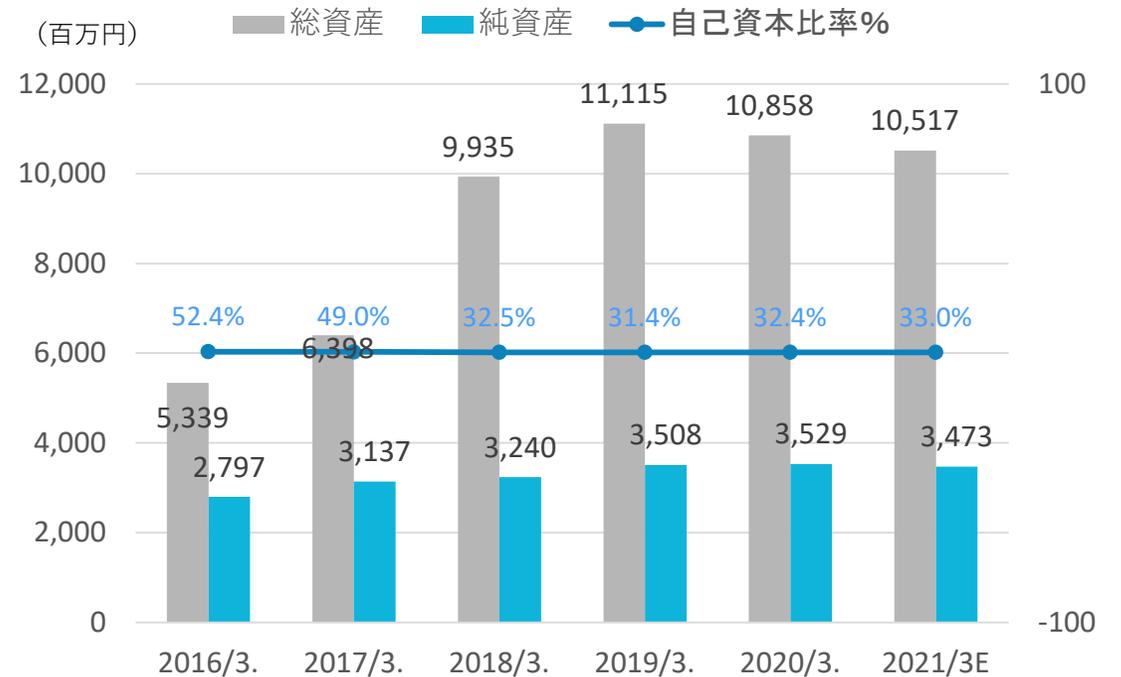
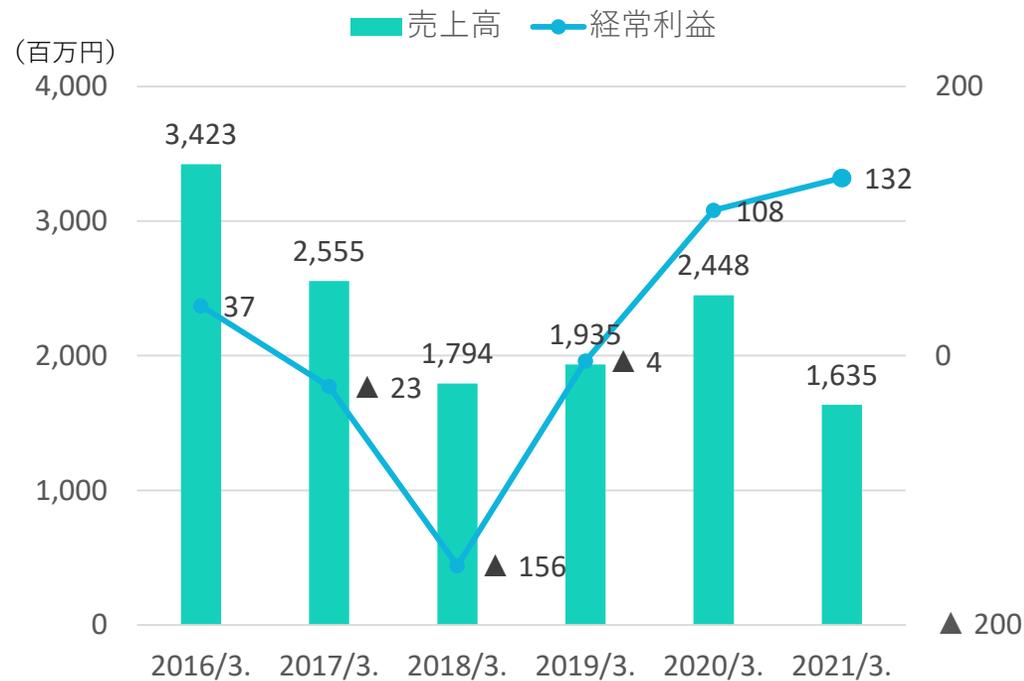
1. M&A、不動産、ANGOO FINTECH運営による収益
2. 増資を行い、さらに、M&A・不動産を強化
3. N F T・不動産テック・医療テックの強化
4. エストニアのネット通販会社との提携
5. エストニアTV局との番組販売、制作協

オペレーション事業

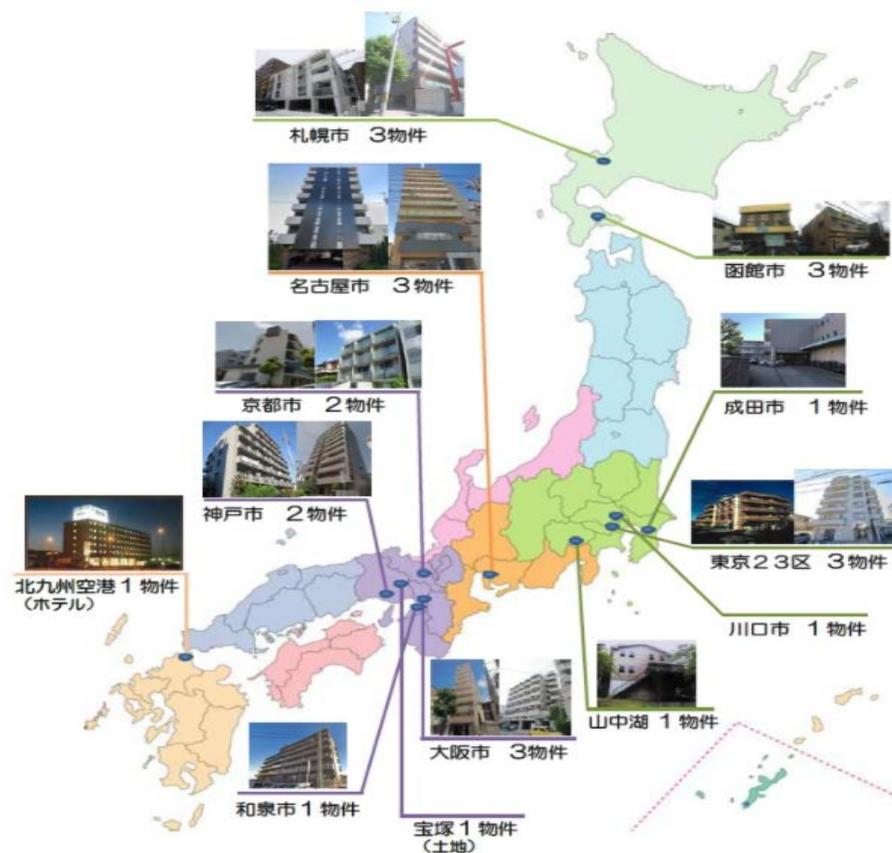
1. 病院給食事業、ネットカフェ、ボウリング場の運営
2. エストニアTV局に日本のアニメーションその他の番組販売、番組制作協力 → エストニア事業の収益とのシナ

過去からの業績推移

- 前期（2021/3期）は、新型コロナ禍の影響を受け、ホテルオペレーション事業から完全撤退したため、売上は減収となったが、**経常利益ベースでは増益を確保**
- 財務基盤も強化できてきており、自己資本比率は33.0%まで改善。



不動産・企業投資事業)



■ 全国に25棟の不動産賃貸ビル保有

(約100億円)

■ 年間家賃収入 (約7億円→10億円へ)

■ 賃貸マンションが中心でコロナ禍の影響無し

■ 今後、優良物件あれば積極購入

■ M&A・投資事業

■ 当社は企業投資においては、国内外において実績を上げている。

M & Aの実績例として、旭工業（株）を連結子会社化しValue-upしエグジット。



人と食味の明日をめざす
技術のアサヒ

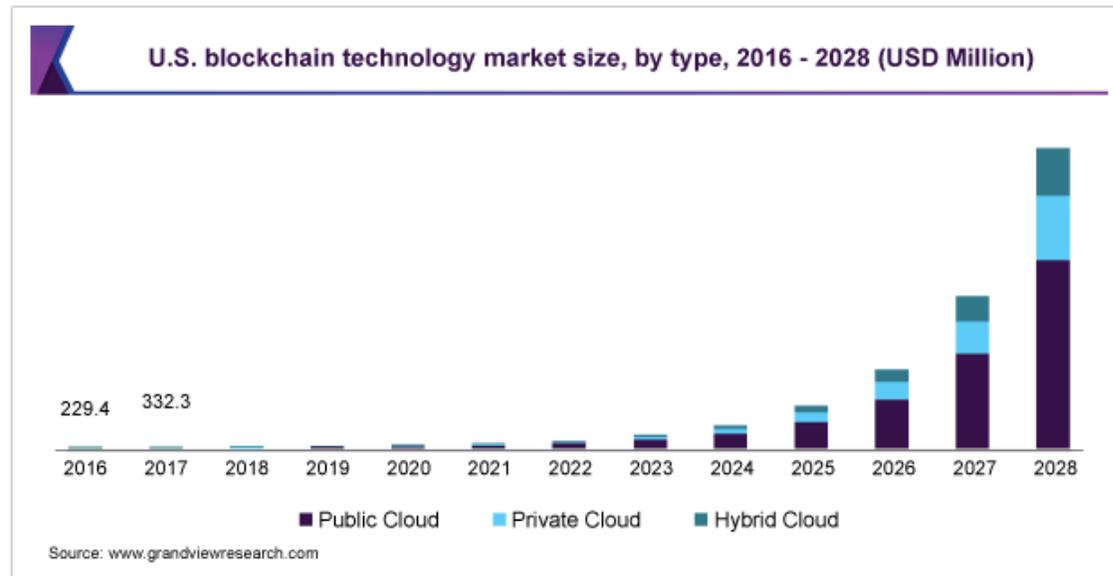
旭工業株式会社

食品製造過程における、殺菌工程を効率的に実現する全自動式蒸気殺菌装置をはじめ、数々の食品製造機械を生産販売

<p>+CN Innovations</p> <p>CN Innovations Holding Limited 金属コーティング加工メーカー。時計および携帯電話機向けに注力</p>	<p>極楽湯</p> <p>スーパー銭湯「極楽湯」の運営・フランチャイズ事業展開を支援</p>	<p>Ys table</p> <p>フイステープル 飲食店舗ブランドと不動産開発事業のシナジー追求</p>
---	---	--

海外投資・エストニア事業（市場環境）

■世界のブロックチェーンテクノロジーの市場規模は2020年に36.7億米ドル。2021年から2028年にかけて82.4%の複合年間成長率（CAGR）で拡大予想。（出所：Grand View Research社
<https://www.grandviewresearch.com/>）



■2020年のNFT市場規模は3.4億米ドル（約370億円）市場で、前年比2.4倍の伸び。NFTは暗号通貨とは異なります。具体的には、非ファンガルトークンは、ビデオゲーム資産、芸術作品、収集可能なカードや画像、またはブロックチェーン上に保存および管理されるその他の「ユニーク」なオブジェクトです。



デジタル化による新流通市場の構築

マーチャントバンキング事業

不動産・企業投資

ネット販売事業

海外投資・エストニア事業

- ・暗号資産交換所
- ・不動産テック
- ・メディテック
- ・NFTプラットフォーム

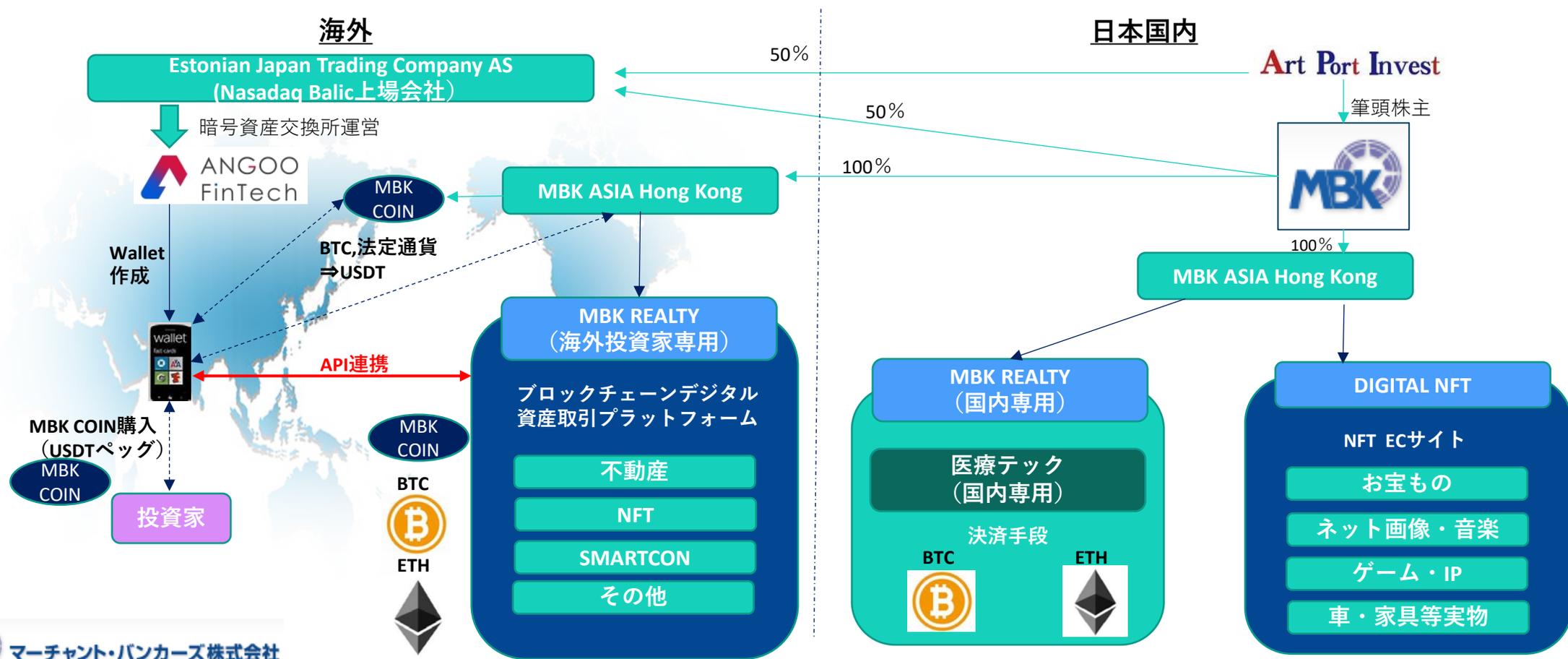
オペレーション事業

新たな成長ドライバー

- Nasdaq Balticの子会社EJTCの拡大
- 暗号通貨を含む決済手段（ゼキュア・利便性）
ANGOO FINTECH / MBKコイン
- MBKプラットフォーム（上場企業）
（不動産・メディカル・NFTプラットフォーム）
- グローバルな流通市場の拡大
- エストニアの通販・TV局企業との連携

海外投資・エストニア事業のビジネスモデル

- 2021/3期は、新型コロナ禍の影響を考慮し、ホテルオペレーション事業から完全撤退
- 次期成長に向けたブロックチェーン技術による「不動産プラットフォーム」、「NFTプラットフォーム」を構築



ブロックチェーン・テック：不動産テック

- 子会社MBKブロックチェーンによる、海外向け日本不動産のプラットフォームの構築
- 今期不動産プラットフォームのバージョンアップを推進



不動産オーナー



ペーパーレス
ワンストップ取引



不動産会社
不動産ファンド

MBKトークンによる安心・安全・透明な取引

不動産テック
「海外向け日本不動産プラットフォーム」
(MBKブロックチェーンが開発)
ブロックチェーンでの透明性ある不動産取引サイト



海外投資家・ファンド



エストニア暗号資産交換所



キャッシュレス決済
暗号資産/法定通貨

不動産テックのポータルサイトへの発展を目指す

- ①中古不動産へのリノベによる付加価値 ②物件品質・ロケーション・環境等の付加価値動画
- ③暗号資産でも決済可能なグローバル投資家への投資促進によるポータル機能強化
- 日本全国の付加価値物件掲載とグローバル投資家との決済可能なポータルサイトへ育成
- 成約時の暗号資産交換手数料、掲載料、物件管理・収益化業務委託料による収益モデルを育成

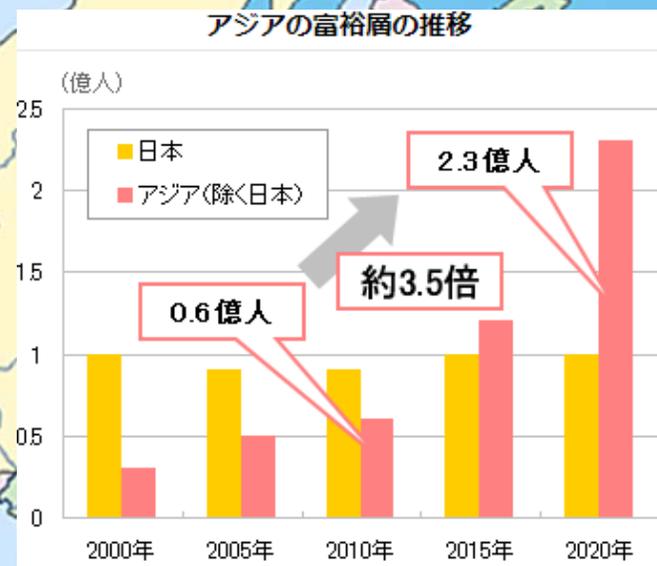
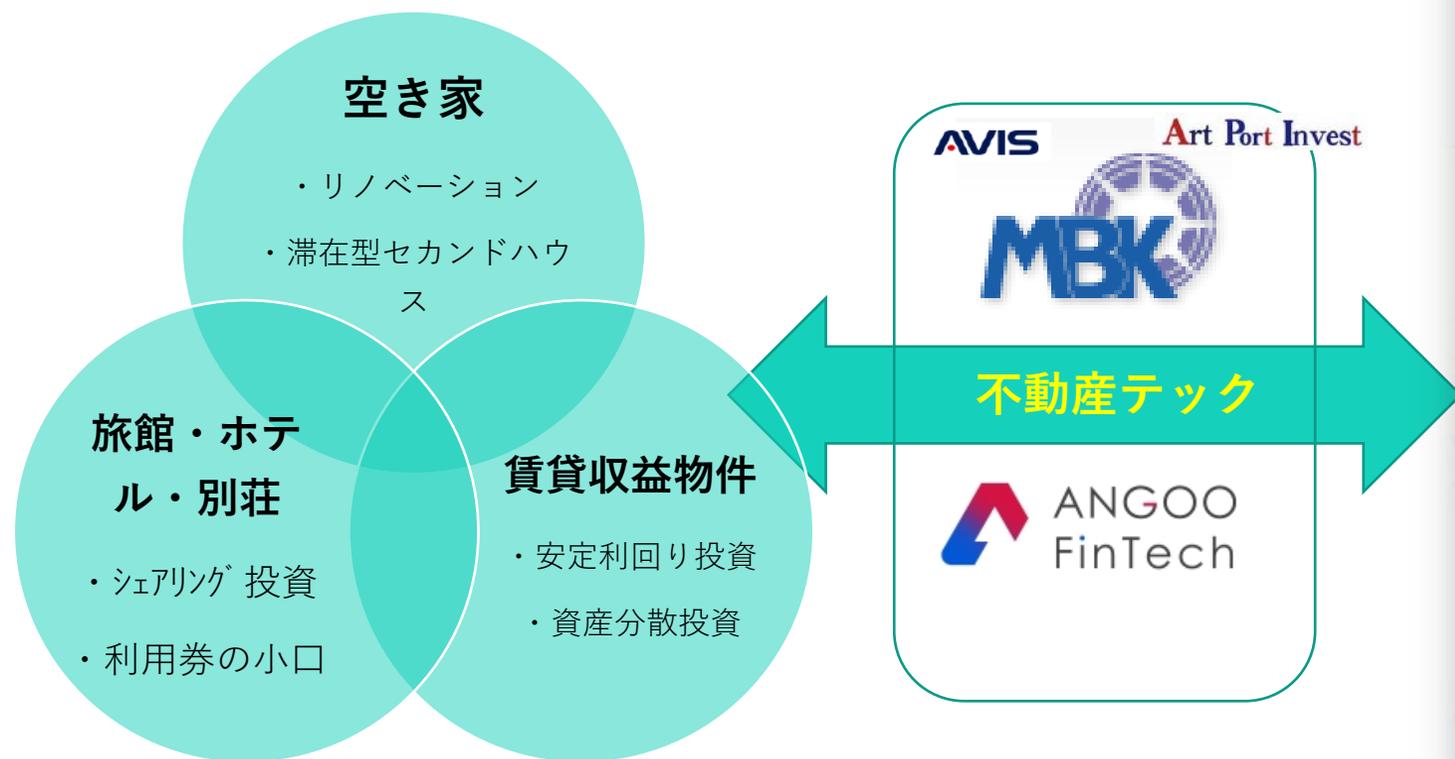
①デザイン・機能性、②環境・ロケーション、③決済機能、④管理・メンテ

MBKグループの付加価値不動産



日本の不動産の抱える問題を解決

■ 国内の少子高齢化による、空き家問題、地方不動産の疲弊、リゾート・観光地の疲弊化をMBKは不動産テックで再生を図ります。



出所：経済産業省データ

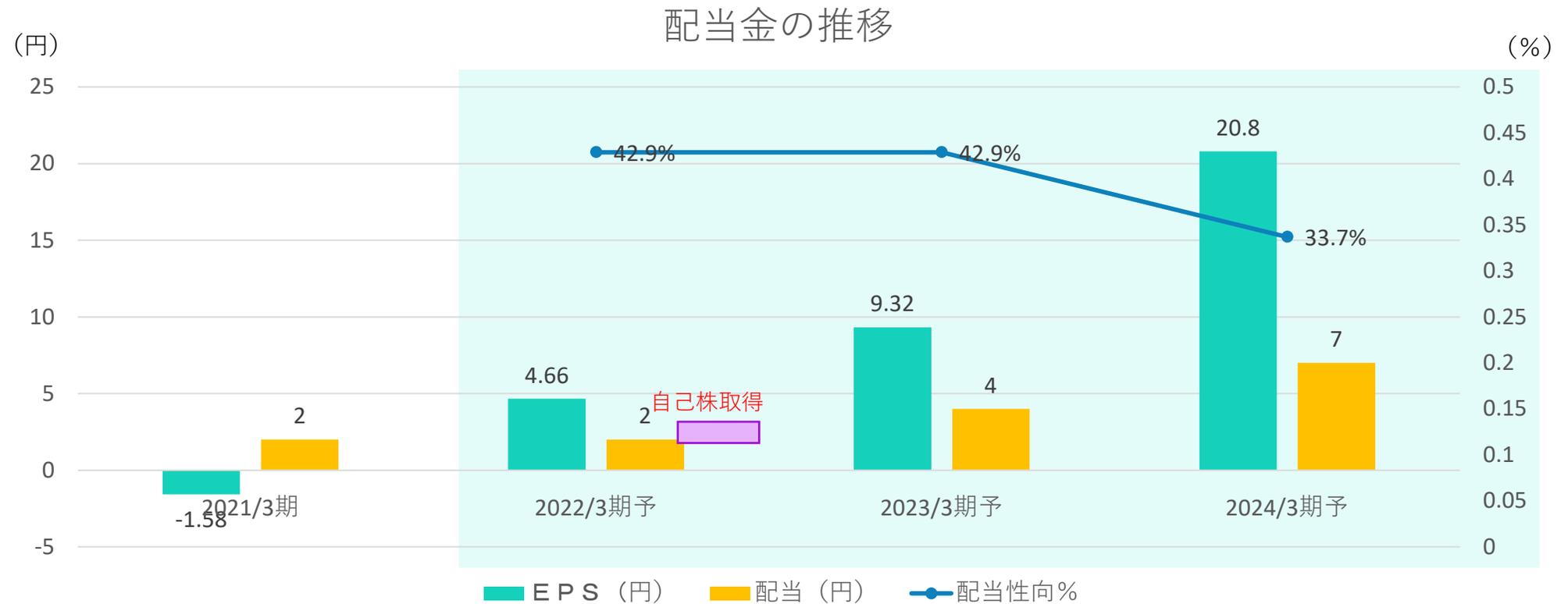
お宝グッズ「NFT売買プラットフォーム」

- NFT (Non-Fungible-Token)とはブロックチェーン上の識別子を保有した非代替性のトークン。
- MBKではお宝グッズ、映画・ゲーム等のNFTからスタートし、アライアンスによりマーケットプレースを拡大



配当方針

- 安定配当を前提に、成長への内部留保と株主還元の継続性を基本方針



【お問い合わせ先】

マーチャント・バンカーズ株式会社

取締役 C F O 兼財務経理部長

高崎 正年

T E L : 03-5224-4900

■本資料の注意点

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。本資料に掲載されている業績見通し、中期計画、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。本資料中の情報によって生じた影響や損害について、当社は一切責任を負いません。なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。